

会社 探訪

サイバースタイル(東京都、片岡和彦社長)は、BIMデータ作成事業に乗り出した。エクステリア業界に特化し、CAD図面の代行事業やソフトウェア開発を手掛けてきた実績を生かし、BIMに新たな商機を見いだしている。

将来的に日本の労働人口の減少が見込まれるなか、若年労働者の確保が大きな課題となっている。建設業界もBIMだ。BIM

BIMで業容拡大、新たな軸に

サイバースタイル(東京)

外構3次元CAD技術生かす



片岡 社長

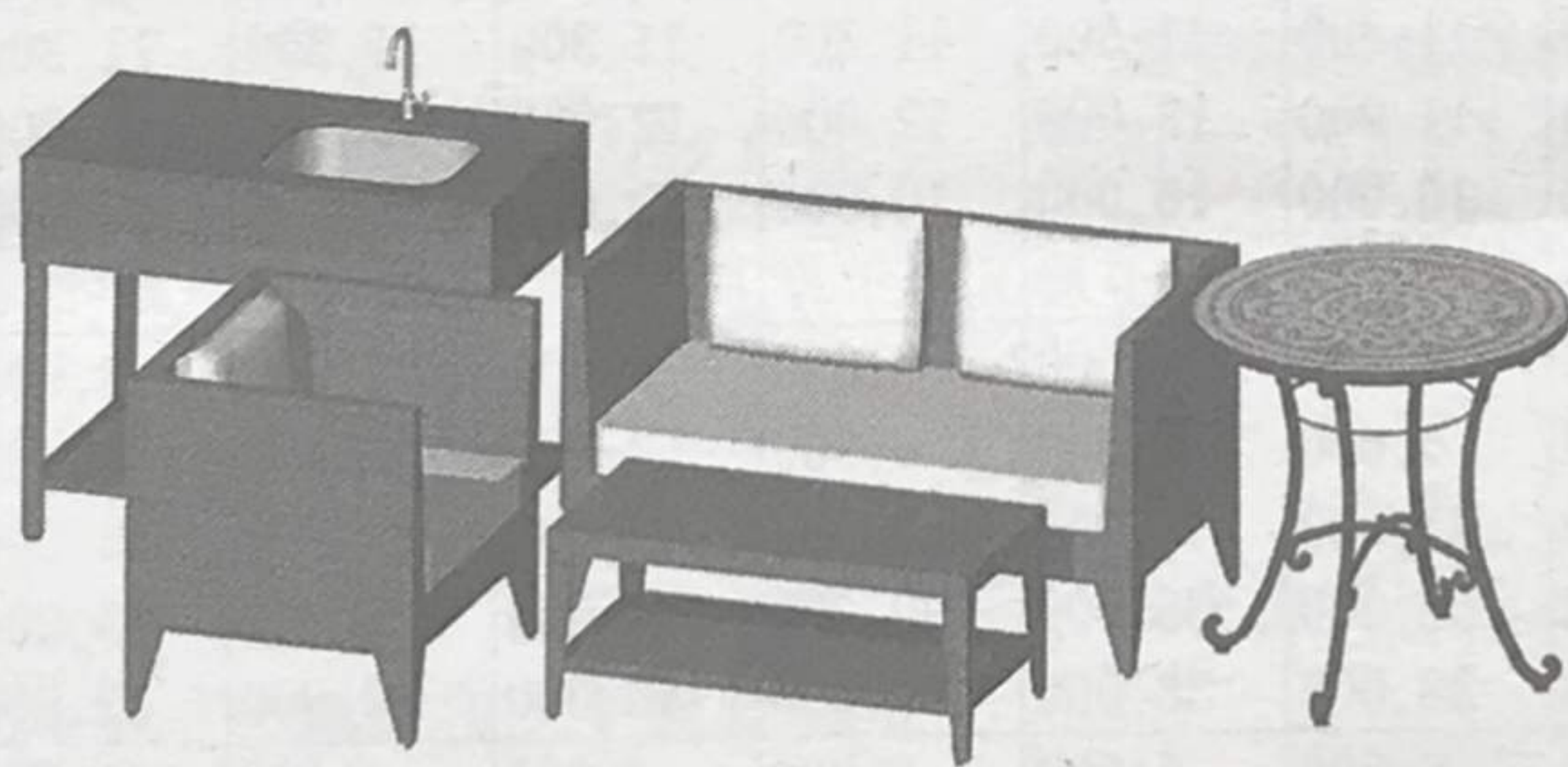
は、ビルディング・インフォメーション・モデリングの略で、情報駆使し、3次元の建築物を形作っていくという考えだ。

BIMを活用することで生産性を向上させ、限られた人員で効率的に業務を進めることが期待されている。

大手住宅会社の外構工事を受け負う工事店のCAD図面の代行作成事業やウェブカタログの開発、ソフトウェア開発などを手掛け、11年には3次元CADデータ作成事業を強化するため、中国・大連の企業と提携。

現在は、30社余りの取引先を抱え、月間150棟水準の3次元CADデータ作成を手掛けている。

片岡社長は、三協立山のエクステリア事業部はBIMなのではない



データ作成にはモデリング力が重要になる

IMとの共通点は多かった。契機は、アーキヤドを販売するグラフィソフトが海外で主催したBIM会議だ。「ここでBIMの流れを予感した」という。14年には、アーキヤドと連携する3次元データ作成事業の1手前からはBIMデータ作成事業を始め、1500点以上の実績を挙げ、顧客はエクステリア業界だけでなく、内装業界にまで広がっている。

メモ

サイバースタイル 東京都足立区綾瀬3-15-1 E.ANNE X 3階 電話03・5856・0371

